



秋田大学教育文化学部附属小学校 校報

はとの子だより

No.1 令和8年4月7日(火)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

言葉と心で編む、温かなつながりを

はとの子の登校を待っていたかのように、校庭の桜が開花を迎えました。薄桃色の花びらが春風に揺れる中、令和8年度の新学期が始まりました。

子どもたちの表情からは、これから始まる数多くのドラマにわくわくしている様子が伝わってきました。



9名の新任の先生方への歓迎のことばでは、6年A組の原田弥生さんが、創立152年目を迎える附属小学校について紹介してくれました。一つ目は、創立150周年を記念して作られた「ちびはとさん」という愛らしいキャラクターについて、二つ目は、「わくわく班活動」で一番印象に残っている「6年生ありがとう集会」に向けた帽子作りから感じたことについて、三つ目は、失敗を通して成功の経験をした「はとの子学習発表会」についてです。創立152年目の歴史を心に刻み、新たな一步を踏み出そうとする弥生さんの強い意志を感じました。

始業式では、4年B組の森谷暁陽さんが、日頃心の支えにしている「失敗は成功のもと」ということわざと、祖父から教わった「成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである」ということを胸に、「失敗を恐れず、勇気を出して挑戦する4年生になりたい」と話していました。



さて、学校は、多くの友達と出会い、共に学ぶ場所です。自分と違う考えをもっている人がいるのは、当たり前のことです。

友達を大切にすることは、単に仲よく遊ぶことだけではありません。相手のよさを認め、違いを尊重し、時には助け合い、時には高め合う、そんな関係を築いてほしいと願っています。一人一人が自分の言動に責任をもち、相手を思いやることで、クラスや学校はもっと心地よく、楽しい場所になるはずです。心の中にある「思いやり」は、目には見えませんが、それが見える形にするのが、「言葉」であり「行動」です。

「ありがとう」「大丈夫?」「すごいね」などの言葉は、言った人も言われ

た人も、心を温かくしてくれます。反対に、相手を傷つける言葉は、一度口から出ると取り消すことができず、相手の心に深い傷を残してしまいます。

「自分がこう言われたらどう思うかな」「この行動をしたら相手はどう感じるかな」と一歩立ち止まって考える、その一瞬の「想像力」こそが、本当の優しさです。



「言葉」は心の鏡です。子どもたちが美しい言葉を用い、互いを尊重し合えるよう、私たち教職員も一人一人の心に寄り添い、丁寧に見守ってまいります。

ご家庭におかれましても、お子様が発する言葉や友達との関わりについて、話題にしてみてください。学校と家庭が手を取り合い、子どもたちの豊かな心を育てていくことができれば幸いです。

本年度も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年度の職員です。どうぞよろしくお願ひします

◎は学年主任

校長：林 正彦
 副校長：津島 穰
 教頭：菅野 宣衛
 教務主任：渡部 和朝
 研究委員長：柴田 省吾
 生徒指導主事：石井 知徳
 養護教諭：佐藤 素子
 栄養教諭：三浦久美子
 音楽専科：大山 光子
 事務室長：小野 合典
 主任：三浦 茜
 事務系補佐員：奈良 千穂
 情報担当：加藤奈緒美
 図書担当：伊藤 貴子
 給食担当：白坂千佳子
 小森 紀子
 平川 直子
 齊藤ヨリ子
 伊藤 春菜
 (秋田大学大学院派遣) 山崎 麻絵
 (育児休業) 伊藤 綾乃

学年	組	氏名	研究教科等	学年所属 (担当教科)
1	◎	工藤 優花	国語	今井佐都香
		丹 理人	生活	佐藤亜樹子
		新山 壮一朗	算数	※学級及び担任は6月に決定
2	A	鎌田 佳佑	国語	小林 葉子 (音楽)
	B◎	三浦 茉子	図画工作	吉田 純子
	C	佐藤 咲紀	生活	
3	A	佐々木 駿斗	体育	大谷 陽子
	B◎	大森 果歩	図画工作	石戸美保子
	C	門脇 千尋	理科	
4	A	米山 小幸	道徳	谷地るり子
	B◎	石田 智之	外国語	鈴木 真理 (国語)
	C	伊藤 智美	算数	
5	A	奥田 瑞季	音楽	太田 章子
	B◎	山田 幹	体育	
	C	田島 駿己	算数	
6	A◎	山崎 泰明	社会	徳原由美子
	B	小室 真紀	家庭	安達 健登 (体育)
	C	石井 知徳	国語	嘉藤 麻菜 (算数) 林 佑果 (外国語)

4月6日（月）の始業式で、林正彦校長が全校児童に向けて話した内容です。



みなさん、おはようございます。新学期を皆さんと一緒に始めることを大変楽しみにしていました。一緒に、元気に、新しい学年をスタートしましょう。そろそろ桜の花も咲きだすと思います。これからまた楽しいことがいっぱいあります。でも最初はたくさん新しいことがあると思いますので、先生方の注意をよく聞いて、分からなかったらよく質問して、忘れ物などないように注意して下さい。

さて、今日は、私から少しお話をしたいと思います。「間違うこと」を大切にしましょう、というお話です。みなさん、授業で間違いたくないな～と思っていますか？ 私もそうしています。でも、実は間違ったり失敗したりすることは、大変大切なことです。

人間が何かを学ぶとき、どんな人でも、頭の中で小さな間違いを繰り返しながら、自分の考えが正しくなるように調整しています。それが「学ぶ」ということです。例えばみなさんが自転車に乗るとき、右にハンドルを回したら転んでしまった（失敗した）。だったら、次は左に回そうと思いますよね。それと同じことです。だから、間違うことは私たちが正しく考えられるようになるために、とても大切なことです。皆さんの中にはAI（人工知能）を知っている人もいるかもしれません。AIも同じやり方で学んでいます。

エジソン、アインシュタインは大発明や大発見をした人たちですが、そういう人たちも、「失敗」したり「間違ったり」することは「成功」するために絶対に必要なことだと言っています。この中に、宇宙が好きな人はいますか？日本でもロケットを作っていますが、最近は何度も何度も失敗していますね。ひょっとしたら、悔しいなとか、残念だなとか、思っているかもしれません。でも、難しいことに成功するには「失敗することが」本当に必要なことです。私は、きっと成功すると思うので、応援してほしいと思います。

さて、みなさんにも授業の中で間違ったり失敗したりすることを恐れずに、自分の答えをしっかりとってほしいというのが私の願いです。間違えたからといって、決して恥ずかしいとは思わないでください。今年は、今までより少しだけ難しいことにも、間違ったり、失敗したりすることを恐れずに、挑戦してもらいたいと思っています。もちろん、間違ったときは、どうして間違ったのかな～と考えることはとても大切です。間違ったままではいけません。また、わざと間違うのはいけませんよ。それから、お友達が「ヘンテコな」答えで間違えても、笑わないでください。挑戦しているお友達がいたら、みなさんもぜひ応援してあげてください。

最後に、ある英語の先生から聞いた話をしたいと思います。あるクラスで、先生が質問すると大変元気に答える子供がいたそうです。でも、その子の話す英語はたくさん間違っていました。友達もきっと、「なんてヘンテコな間違いをするのだろう」と思っていたかもしれません。ただ、その子はどんなに間違っても、たくさん話すことを止めませんでした。それでその子はどうなったと思いますか？ その子が一番早く英語が話せるようになったそうです。

みなさんも、間違いを恐れず挑戦する、そして挑戦しているお友達を応援できる、そういう1年にしてほしいと思います。

これで、私からのお話を終わります。1年間頑張ってください。